

地方創生応援税制活用事業 事業評価シート

地域再生計画(事業)名: 群馬県まち・ひと・しごと創生推進計画(群馬県まち・ひと・しごと創生推進事業)

地方版総合戦略の位置付け(基本目標)	個別事業名	担当課	事業費(千円)	寄附額(千円)	寄附件数(件)	事業内容(実施結果)	KPI			自己評価	外部有識者からの評価		今後の方針		事業実施後の振り返り・今後の方針等
							指標	目標値	実績値		事業の評価	外部有識者からの意見	理由等		
基本目標2: 群馬に住み続けたい	湯けむりフォーラム	戦略企画課	69,439	200	2	令和5年12月15日、16日に草津温泉においてリアルカンファレンスを実施。県内外から416名が参加し、知事×三木谷会長トークセッションや知事×河野大臣1-on-1セッションをはじめ様々なプログラムを実施した。	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	③地方創生に効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	①発展	地域社会が抱える様々な問題解決に向けて、時代の最先端をゆく独自のモデルや新たな価値を生み出すことができた。	・更にグローバルなカンファレンスへ(外国人参加率10%以上を目指す) ・Day1コングレートホール集客数の増加(収容率100%を目指す)と一般県民の要望にも応じた一般参加者の導入 ・草津温泉全体で湯けむりフォーラムを盛り上げ、フォーラムの知名度(プレス)を向上させるための、一般参加者(観光客を含む)向けの湯けむり周辺の案内 ・草津温泉だけでなく、県内の温泉地と一体感のある事業企画の実施
基本目標2: 群馬に住み続けたい	群馬デジタルイノベーションチャレンジ	デジタルトランスフォーメーション課	20,629	1,403	1	DXの発想やデジタルスキルを活用して地域課題の解決に取り組む人材(デジタル人材)の育成等を目的として、 ①高校等のデジタル関連活動へ専門家講師を派遣 ②産校生の県内IT関連企業へのインターンシップを実施 ③地域ICTクラブの開催(県内の小・中学生を対象にプログラミングなどのデジタルツールに触れる講座を実施)	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	②地方創生に相当程度効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	②継続	・小学生から高校生までの参加者が多く集まり、今後もさらなる需要があると見込まれる。 ・事業に参加した学生が各種デジタル関連の賞を受賞するなど講師陣により質の高いデジタル教育を提供することができている。 ・事業に参加している学生の活動がメディアに取り上げられるなど周囲に及ぼす影響も大きい。	①県内各校の高校関連部活動への講師派遣及びインターンシップを実施。R6年度も同様の実施予定。 ②地域ICTクラブは県内4カ所の学習支援会場で小学生・中学生までを対象としたプログラミング講座を開催。また、11万円の群馬県子ども生活・学習支援会場に講座動画を提供した。R6年度はより多くの参加者があるため、県内5カ所の学習クラブで実施。講師派遣及び講座開催については昨年度同様。
基本目標2: 群馬に住み続けたい	群馬県デジタルミュージアム事業	文化振興課	63,365	100	1	県立博物館等の収蔵品のデジタルデータ化を24点実施した。また、デジタルデータを活用したデジタル展示を6メッセ群馬及び昭和庁舎にて実施した。	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	③地方創生に効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	②継続	収蔵品のデジタルデータを活用した展示等、新しい展示を実施できなくなり、新たな価値創出による県土への愛着育成に一定の寄与があったと考えられるため、事業を継続する。	事業について効果的な広報が実施できていなかった。また、開催時期について、より集客が見込まれる時期に実施できなかった。これらの反省点を踏まえつつ、引き続き収蔵品のデジタルデータ化を進めると共に、デジタル展示を実施する。
基本目標2: 群馬に住み続けたい	子ども向け地域環境学習支援事業	環境政策課	2,176	300	1	県内各地域で開催される子ども向けの環境学習会やイベント等に、環境アドバイザーを講師として派遣した。	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	③地方創生に効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	②継続	「2050年に向けた『ぐんま5つのゼロ宣言』」の達成に向けて、環境問題に取り組む人材を育成する必要があるため。	県内各地域の学習会やイベント計10件に協力し、子ども971人の環境学習や環境保全活動を支援した。毎年継続して支援できるような学習会・イベント等の主催者との関係性を築く。
基本目標2: 群馬に住み続けたい	尾瀬の適正な利用促進と魅力発信事業	自然環境課(尾瀬保全推進室)	12,585	5,200	1	尾瀬の適正な利用促進を目的とする県管理歩道の維持管理方針の検討や、魅力発信のための官民共創による尾瀬のデジタルコンテンツ開発などを行った。	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	②地方創生に相当程度効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	⑤終了	予算措置上、令和4年度から令和6年度までの3カ年の計画として実施。	令和4年度に事業の企画・検討、令和5年度に官民共創による尾瀬のデジタルコンテンツ開発、令和6年度は実際に当該成果品(VRゴーグル)を各種イベント等に活用することで、尾瀬の魅力発信に繋がり、地方創生に相当程度効果があったものと考えられる。
基本目標2: 群馬に住み続けたい	産業分野における教育イノベーション	労働政策課	10,000	5,000	1	既成概念にとらわれず、デジタルも活用しながら新しい価値・ビジネスを創出できる人材の育成を目指す「自由発想育成プロジェクト」(始動人イノベーション)と、大学生等が県内ものづくり産業の潮流や未来等を学ぶ「大学連携による産人材育成プロジェクト」(次世代産人リーダー育成講座)を実施する。	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	②地方創生に相当程度効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	②継続	産業構造の変革を踏まえた群馬ならではの未来産業の創造に対応するため、引き続き、将来を担う若者世代を課題解決ができる人材として産学官で連携して育成する必要があるため。	県内の中高生、大学・大学院生が参加し、新たな時代を切り開く「始動人」の育成に有効であり、今後も継続して実施する。
基本目標2: 群馬に住み続けたい	ものづくり産業DX推進事業	群馬産業技術センター(地域企業支援課)	41,400	19,500	10	デジタルソリューションを実際に体験できる場として群馬産業技術センターに「デジタルソリューションラボ(DSL)」を開設し、7つのソリューションの整備(累計19)を行い、スマートファクトリー化を目指す県内企業をワンストップで支援した。	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	②地方創生に相当程度効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	②継続	デジタルソリューションラボの見学企業数153社、見学者数540名で、多くの方にソリューション見学体験をさせていただくことができた。また、企業共同研究や補助金等、ソリューションに関連する機器を活用した研究が12件実施され、一定の寄与があったと考えられるため。	デジタルソリューションラボでのソリューション体験を目的に集まり、そこから技術コーディネートと親合を促し、件数支援に繋がることができている。ソリューションの増強を検討し、引き続きワンストップ支援を実施する。
基本目標1: 群馬で暮らし始めたい	ぐんまで働こう!若者の活躍促進事業	労働政策課	72,134	2,200	3	学生等の県内就職と企業の人材確保をすることで、活気ある群馬県づくりに取り組んだ。	他の都府県からの 転入超過数	(人)	-114	-941	③地方創生に効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	②継続	本事業を通して543人の県内就職実績を創出し、地方における雇用創出に一定の寄与があったと考えられるため。	利用者の利便性向上や採用活動方法の変化への対応を促進し、引き続きオンラインを活用した支援を実施。また、就職者につながる登録者数の増加を図るため、HPやSNS等で積極的な広報を展開する。
基本目標2: 群馬に住み続けたい	ぐんまの山岳観光推進事業	観光魅力創出課	11,799	500	1	パラエティに富んだ群馬の山々とその周辺の観光情報を掲載したガイドブックの作成や、登山アプリと連携したぐんまの山岳観光プロモーション業務を行った。	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	②地方創生に相当程度効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	②継続	群馬の山岳観光推進事業は県内外から人を呼び込む取り組みとして、地方創生に資するものと考えられる。群馬の山々は魅力的な観光資源であるため、現状の取り組みだけでなく様々な方法でプロモーションを行うことで、より観光入込客数の増加につながるよう取り組みを充実させていきたい。	登山アプリと連携したプロモーションは、①手ぬいキャンベーン応募総数8,309件、②デジタルバッジ獲得者23,396人となり昨年度の14,866人から大きく上回った。今後も実施方法を検討しながら事業を継続していく。ガイドブックは、山に強い観光施設では人気が高く、追加の送料負担も多かった。群馬の主要な山の掲載を一通り終えたため、今後は既刊の配布、WEB版でのPRを継続していく。
基本目標2: 群馬に住み続けたい	Gurma Excellence施設高度化プロジェクト	観光魅力創出課	9,610	3,000	1	Gurma Excellence施設の登録業務および各種セミナー(オンライン研修会、対面研修会、個別相談)を実施し、59施設が参加	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	③地方創生に効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	③見直し(改善)	6E制度については令和5年度に12施設が新たに登録となり、合計82施設となり県内観光施設の外国人観光客受入環境向上につなげてきたが、今後は環境整備だけでなく、接客の要素もふまえる必要があるため、見直しを検討中。	専門家による個別相談は当初の上層施設数を上回る応募があり、Gurma Excellence施設のニーズに合致する事業であったと考えられる。今後は接客に繋げる要素もふまえて、制度の見直しを検討中。
基本目標2: 群馬に住み続けたい	eスポーツを活用した産業・地域活性化事業	eスポーツ・クリエイティブ推進課	3,500	2,000	2	eスポーツを活用し経済の活性化や魅力向上を図る取り組みとして地方創生に一定の効果があったと考える。「ぐんまeスポーツフェスタ」を実施する事による経済効果や関係者の発展のためにも、常に費用対効果をチェックしながら徐々に民間に移管することをご検討いただきたい。	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	③地方創生に効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	③見直し(改善)	当該イベントを継続していくため、県費負担を徐々に減少し、民間からの協賛を増やしつつ民間自主化を目標に対応していく。	当該イベントを継続していくため、県費負担を徐々に減少し、民間からの協賛を増やしつつ民間自主化を目標に対応していく。
基本目標3: 群馬で家族を増やしたい	不登校児童生徒等支援事業	生涯学習課	975	975	1	不登校児童生徒等の学び場・居場所の一つであるフリースクール等民間施設に対する財政的支援(8施設に補助)等を実施した。	子どもを産み育てやすいと感じる保護者の割合	(%)	未設定	68.5	③地方創生に効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	②継続	企業版ふるさと納税で受け入れた寄附金を基金化し、R5年度からR7までの3年間で基金から取り出しながら事業を実施する計画であるため。	フリースクール等民間施設に対する財政的支援を継続するとともに、企業版ふるさと納税(人材派遣型)制度を受け入れたことによる経営や施設運営等に対するフリースクールの助言等を実施していく。
基本目標2: 群馬に住み続けたい	官民共創スペース運営・活用事業	デジタルトランスフォーメーション課	65,990	6,700	1	令和5年度は、月額会員の増加に取組み、令和5年度末に月額法人数員91社、月額個人会員85人、交流事業実施回数361回となった。また、NETSUSENをウェブと、県内 coworkingスペース等とのアライアンスを推進し、 coworking施設23カ所と連携した。	一人あたりの 県民所得	(万円)	328.6	318.7	③地方創生に効果があった	本事業が地方版総合戦略のKPI達成に有効であった	②継続	目標の会員数を獲得できたため、今後は会員数目標と「群馬を熱望」というミッションの下、会員の交流促進事業や会員の満足度向上を図っていく。	令和5年度は361回の交流事業を実施し、新たなビジネスチャンスやイノベーションを生み出す取り組みとして一定の事業効果があったと思われる。今後もコスト抑制の観点を持ちつつ、多彩なセミナーや交流事業を継続して実施することにより、R5年度から本県の活性化に繋がる新たな価値が創出されていくことを期待する。